

6月22日（月）朝礼にて 校長講話

先週、相撲の壮行会がこの場所で行われました。そして、土曜日に相撲大会が行われました。今、紹介したように、非常に優秀な成績を収めてきてくれました。みなさんの応援が彼らの背中を押してくれたのだと思います。

これが、そのときのプログラムです。これを見ると、大会の様子がわかります。個人戦の前に団体戦があります。1チーム3人で、3つの学校と戦います。

1回目、美和中学校と戦いました。3対0で勝ちました。

2回目、甚目寺南中学校と戦いました。3対0で勝ちました。

3回目、佐織中学校と戦いました。3対0で勝ちました。

1つも負けることなく、弥富中学校は予選リーグを1位通過し、8チームで戦われる決勝トーナメントに進みました。同じように、1回も負けずに決勝トーナメントに進んだ学校が七宝中学校でした。審判も、応援の人たちも、今の結果から、「おそらく弥富中学校と七宝中学校の決勝になるだろう」そんな声が聞こえてきました。みんなも知っていると思いますが、決勝トーナメントは、強いところ同士が当たらないように組合せがされています。

決勝トーナメント1回戦が神守中学校。予選8位通過した学校です。結果は1対2で負けました。

土俵の周りを、悲鳴ともため息ともとれる声が広がりました。3人の選手は、予選1位通過したことで、気を緩めていたのか。違います。予選以上にしっかりと仕切り、にらみ合い、立ち会いでぶつかりました。手を抜いたなんてこれっぽっちもありません。しかし、相手の神守中の選手がそれを上回るいい立ち会いで攻めてきました。そのざわめきの中、4位通過の甚目寺中学校と5位通過の大治中が対戦して、5位通過の大治中が勝ちました。次に2位通過の七宝中と7位通過の佐屋中が対戦し、佐屋中が勝ちました。これがスポーツの怖さであり、すばらしさかもしれません。その後行われた個人戦で鳥井君、櫻井君は団体戦の悔しさを、雪辱してくれました。1位と3位という素晴らしい結果を収めてくれました。

今、みなさんは、自分の所属しているチームで最後の調整をしているところです。毎週のように、先生たちが組合せ抽選会にでかけ、対戦が決まっています。今年の優勝チームと1回戦で当たってしまい「もうだめだ」と思っていないですか。そう思った時に負けです。今紹介したように、相撲でも、下位が上位を破ることがいくつもありました。まだ1ヶ月あります。作戦を練って、練習を積んで上位を打ち負かす気持ちをもって下さい。また、昨年先輩達がいい結果を残し、春から順調に伸びてきている皆さんも気を緩めないで下さい。負けたチームは今度こそやってやろうという気持ちでぶつかってきます。その気持ちを上回る気持ちを持って下さい。

とてもいいものを見せてくれましたし、取り組みをしてくれました。選手のみなさん、

ごくろうさまでした。